

保護者様

令和6年6月

大阪市立太子橋小学校
校長 栗山功

荒天時の登下校について

平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、近年「集中豪雨」や「線状降水帯」、「ゲリラ豪雨」など激しい雨が降る現象がたびたび起こっています。

そこで、児童の登下校の様子や安全確保の観点より、下記のような基準を定めます。
ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

己言

◎ 「大雨警報」が気象庁から発表されていないとき <通学路の通り登下校する。>

理由

阪神高速高架下の遊歩道は、淀川工科高等学校、常翔学園、大阪工業大学等の学生・生徒が通学し、その上自転車の往来が多くぶつかる危険があるため。

ただし

荒天時の下校については、教職員引率のもと高架下を通ることもある。

◎ 「大雨警報」が気象庁から発表されたとき <阪神高速高架下の遊歩道を通り登下校してもよい。>

ただし

- ・安全確保の観点より「たちばな隊の方」や付き添うことのできる「保護者の方」、「教員」等が付き添っているときに限ります。児童の登下校に大人が引率していること。
- ・見通しが悪い中自転車が通っているので、十分に注意して歩行すること。

※荒天時は「カッパ」と「かさ」、「レインブーツ」等を併用するなど大雨に備えるようにしてください。